

平成26年度当初予算案への意見反映状況について

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
		事業名	予算額 (単位:千円)	
1 景気・雇用対策				
1 県経済を支えるためには、景気・雇用対策が重要であり、労働者対策が重要ではないか。雇用について、政策が見えない。 スキルアップや離職者を増やさない新卒者の支援など、雇用対策に重点をおくべきではないか。	P3(3,4)	・地域人材雇用拡大・処遇改善支援事業 (各部計上分を含む)	新 1,656,603	商工労働部 生活環境部 (全庁)
	P3(5)	・中小企業等事業拡大・雇用創出事業	891,590	
	P18(148)	・産業人材確保等支援事業	72,855	
	P18(151)	・離職者等能力開発促進事業	442,832	
	P18(152)	・女性の就労総合支援事業	14,800	
2 安心・活力・発展プラン				
2-1(1) 互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県				
①子育て満足度日本一の実現				
2 待機児童ゼロについてだが、保育環境を悪くしてただ受け入れる等子どもの視点を欠き、親の視点での整備を進めないようにすべきではないか。	P4(8)	・子育て支援対策充実事業	3,051,297	福祉保健部
	P4(11)	・保育士確保・保育所等機能強化事業	9,950	
3 子育てが一段落した人にも、情報発信をして子育て世代を支える仕組みをつくったらどうか。	P4(12)	・みんなで子育てキャンペーン推進事業	特 35,475	福祉保健部
4 子どもが満足する視点が重要で、小さいこどもは家庭で過ごせるような、子どもの視点に立った施策が重要ではないか。				
5 子育てレーダーチャートの7番の指標「夫も妻も同じように子育てを行うことが『理想と答えた人』に対して、『実現できていると答えた人』の割合」について、夫と妻には、それぞれの役割分担があるので、「同じように」という表現を変えるべきではないか。				

※ (新) は「新規事業」、(特) は「おおいた成長枠事業」、(元) は「おおいた元気創出枠事業」、(地) は「地域課題対応枠事業」

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
		事業名	予算額 (単位:千円)	
6 ・子ども子育て応援プランの見直しには、期待している。3つ子の魂100までなので、子ども目線から見た満足度が上がるようにしたらどうか。	P4(9)	・大分にこにこ保育支援事業 ・みんなで子育てキャンペーン推進事業	261,687	福祉保健部
7 ・3人目を産むことにインセンティブを与えるなど、人口が増える政策を検討したらどうか。 ・いい教育現場があると、3人目を産めるという自信になる。そういった教育現場づくりが大切ではないか。子どもを育てるのは、お金ではなく、楽しみや喜びであるので、そういった子育て環境づくりを推進したらどうか。	P4(12)		(特) 35,475	
8 ・母子家庭の支援はよく聞かすが、父子家庭も最近増えているので、相談体制などの整備が必要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	福祉保健部
9 ・幼児教育では音楽・図工・体育が非常に大切であり、芸短大等を活用して保育士の再教育や学び直しはできないか。	P4(11)	・保育士確保・保育所等機能強化事業 (その他、継続事業等あり)	9,950	福祉保健部 生活環境部
10 ・生活全般の事を子どもに教える保育者を育ててほしい。教育は小中学校から始まるものではなく、踏み込んだ幼児教育を行うべきである。	—	(継続事業等あり)	—	福祉保健部 生活環境部
11 ・幼稚園も人手不足で困っている。今の若者は教育とか人を育てることに喜びがないのかもしれないと感じる。教育の場でそういったことを教えることが重要である。	P5(19) P22(180)	・次代の親づくり推進事業 ・高校生キャリア教育ステップアップ事業	1,680 8,215	福祉保健部 教育委員会

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
12	・県の次代の親づくり事業をきっかけに研究した少子化の原因や対策について、1月23日に別府大学の学生が福祉保健部職員に発表を行う。次世代への投資、目配りが大切である。	P5(19)	・次代の親づくり推進事業	1,680	福祉保健部
13	・未婚化や晩婚化対策として、婚活支援事業などを行ってみてはどうか。				
②高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり					
14	・老人会の平均年齢が高く、若い人が入っていない。地域活動が活発になるように、老人会に若い人が入るようなしくみを検討してはどうか。	P5(22) P6(28)	・地域包括ケアシステム構築推進事業 ・はつらつ高齢者地域活動チャレンジ事業	③新 39,147 7,275	福祉保健部
③障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進					
15	・就労継続支援事業所には、A型(雇用型)とB型(非雇用型)とあるが、大分県はB型利用が多い。A型は雇用率に含まれるがB型は雇用率に含まれないため、A型を伸ばすような取組を行えば雇用率が上がるのではないかと。	P6(30)	・障がい者就労環境づくり推進事業	④特 28,309	福祉保健部
16	・社会福祉法人自らが、精神障がい者、知的障がい者を雇用するといった施策を推進したらどうか。				
17	・全国でも障がい者のアート作品は人気が出てきており、商工労働部で商品開発や県立美術館と連携した取組ができないか。	—	(継続事業等あり)	—	商工労働部 福祉保健部 企画振興部
④医療の充実と健康づくりの推進					
18	・高齢者が増えてくるので、在宅医療を推進しないといけなくなってくるが、在宅医が少ない。また、老健施設などが困り込みをすることもがあるので、そのようなことが無いように、推進していただきたい。	P7(42) P7(43)	・在宅医療連携拠点体制整備事業 ・在宅医療を支える看護職員確保定着事業 (その他、継続事業等あり)	⑤新 111,627 8,472	福祉保健部

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
19	・在宅医療を推進する上で、看護師不足の実態がある。看護師の確保対策をもう少し充実させる必要があるのではないか。	P7(43)	・在宅医療を支える看護職員確保定着事業	8,472	福祉保健部
⑤安全・安心な暮らしの確立					
20	・アカデミックなエリアは、安全でなければならないが、防犯カメラの運用が厳しく、維持管理費も難しいので、対策を検討すべきではないか。	P9(59)	・街頭防犯カメラ設置促進事業	特 5,000	警察本部
21	・ストーカー事件が発生しているが、学校に通っている生徒は学校が守る必要がある。学校の生徒指導室と警察の生活安全が連携した対応をすべきではないか。一般の人も、警察以外で相談等対応できる場所を作ることが必要ではないか。	P9(60)	・ストーカー・DV被害者等保護対策推進事業	特 7,261	警察本部
22	・スマートフォン等による高齢者のネット被害が多いので、生活環境部や警察がよく連携して対応してほしい。また、小・中・高校生の被害も多いので、教職員の指導力向上やPTAと連携した取組をお願いしたい。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部 警察本部 教育委員会
23	・自転車の交通規則が変わったが、どう走ったらいいかわからず、とまどいがある。警察、福祉、教育が連携して、特に学生や高齢者向けの広報活動を行ってほしい。	P9(57)	・高齢者交通事故防止対策推進事業	特 2,258	警察本部
24	・高齢者が加害者になるケースも多い。免許証の返納は特典があることを周知できていない面もあるので、いろんな団体を活用してもっと高齢者に広めるべきではないか。	P9(57) P9(58)	・高齢者交通事故防止対策推進事業 ・高齢者交通事故抑止サポート事業	特 2,258 4,758	警察本部 生活環境部
⑥地域の底力の向上					
25	・豊後大野市を対象に集落の聞き取り調査を行ったところ、学生が地域に入ると高齢者が元気になると感じた。学・官の連携による集落支援の仕組みづくりを行い、今回の予算でも使えるものがあれば活用してほしい。	P9(62)	・小規模集落・里のくらし支援事業	65,000	企画振興部

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
		事業名	予算額 (単位:千円)	
⑦危機管理の強化				
26 ・災害時に、炊き出し等が出来るように、公共の施設等で、調理の出来る施設を増やしたらどうか。	—	—	—	生活環境部 教育委員会
27 ・耐震診断に関しては助成があるが、その後の改修工事では助成がないと聞いた。特に別府には旅館・ホテルが多数あるので、改修を支援する取組をお願いしたい。	P10(69) P17(136)	・特定建築物耐震化促進事業 ・中小企業金融対策費	特 43,162 41,283,915	土木建築部 商工労働部
⑧恵まれた環境の未来への継承				
28 ・エコエネルギーについて、地熱・温泉熱発電の申請が増えており、温泉も限りがあるので、生活環境部と商工労働部が連携をして今の基準のままでいいのか検討が必要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部
29 ・世界農業遺産やジオパークは、大切な財産であるので、きちんと活かすべきではないか。	P12(86) P12(87) P12(88)	・世界農業遺産ファンド推進事業 ・世界農業遺産ブランド推進事業 ・おおいたジオパーク推進事業	新 1,500,000 元 16,941 元 18,004	農林水産部 生活環境部
30 ・地球温暖化防止について、予算要求の記載がないが、県の施策としてトーンが下がっているのではないか。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名	
		事業名	予算額 (単位:千円)		
2-(2) いきいきと暮らし働くことのできる活力ある大分県					
①知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興					
31	・世界農業遺産は、大切な財産であるので、きちんと活かすべきではないか。	P12(86) P12(87)	・世界農業遺産ファンド推進事業 ・世界農業遺産ブランド推進事業	新 1,500,000 元 16,941	農林水産部
32	・生産ロットの拡大により、品質低下を懸念する声がある。「The・おおいた」ブランドの確立に向けては、量を拡大しても質を落とさないよう指導をお願いしたい。	P13(94) P13(97) P13(98)	・The・おおいたブランド流通戦略推進事業 ・有機農業産地育成推進事業 ・県域食肉流通センター整備支援事業	29,040 特 1,257 新 361,763	農林水産部
33	・和食が世界無形文化遺産に認定された。日本の一流シェフを招いて、椎茸など県産品を使った和食のコンクールなどを開いてはどうか。	P15(116) P15(117)	・大分しいたけ元気回復事業 ・原木しいたけ再生回復緊急対策事業	元 58,100 新 777,958	農林水産部
②活力を創造する商工業等の振興					
34	・ものづくりに触れるためにも、3Dプリンターを高校など学校に配置したらどうか。	P17(143)	・元気創出デジタルものづくり推進事業	元 24,471	商工労働部
35	・企業誘致は、ベンチャー企業など今後可能性のある企業を誘致したらどうか。また、地場との連携が進む取組も必要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	商工労働部
36	・大分市の中心部商店街も美術館、アートを取り入れた商店街づくりを推進していきたいと考えている。	P18(146) P23(196)	・个性的商店街づくり推進事業 ・まちなかアートギャラリー推進事業	6,280 5,782	商工労働部 教育委員会

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
		事業名	予算額 (単位:千円)	
37 ・県経済を支えるためには、景気・雇用対策が重要であり、労働者対策が重要ではないか。雇用について、政策が見えない。 スキルアップや離職者を増やさない新卒者の支援など、雇用対策に重点をおくべきではないか。	P3(3,4)	・地域人材雇用拡大・処遇改善支援事業 (各部計上分を含む)	新 1,656,603	商工労働部 生活環境部 (全庁)
	P3(5)	・中小企業等事業拡大・雇用創出事業	891,590	
	P18(148)	・産業人材確保等支援事業	72,855	
	P18(151)	・離職者等能力開発促進事業	442,832	
	P18(152)	・女性の就労総合支援事業	14,800	
38 ・先般、京都の経済同友会が観光・おもてなしの面で湯布院、自然エネルギーの面で八丁原を視察に来た。大分のポテンシャルの活用を考えていくべきである。	P17(139)	・新エネルギー導入総合支援事業	54,376	商工労働部 企画振興部 生活環境部
	P17(140)	・地熱フル活用おおいた新活力創出事業	元 248,772	
	P19(156)	・ツーリズム戦略総合対策事業	119,002	
	P19(158)	・おんせん県デスティネーションキャンペーン推進事業	特 72,081	
39 ・障がい者、高齢者、女性の就労支援について、これまでは「安心」分野で取組を進めてきたが、これからは地域の産業の担い手として「活力」分野での取扱いも必要ではないか。	P6(32)	・障がい者職業能力開発事業	41,277	商工労働部 生活環境部
	P6(33)	・障がい者雇用総合推進事業	31,330	
	P18(152)	・女性の就労総合支援事業	14,800	
	P18(153)	・女性の再就職チャレンジ支援事業	21,618	
	P19(154)	・子育てママの仕事復帰応援事業	新 21,905	

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
③女性がいいきと活躍できる環境づくり					
40	・女性の活躍推進は、国の成長戦略にも記載されているように、非常に大切である。行政としてしっかりと取り組むべきではないか。				
41	・女性の管理職の割合について、国は2020年に、30%としている。そうした時に、この目標は、今時点のものか。今後、スピードアップさせて推進したらよいのではないか。女性リーダーを育成して、経済界等いろんな分野でどのように女性の活躍を進めるかが大切と思われる。	P4(8) P18(152) P18(153)	・子育て支援対策充実事業 ・女性の就労総合支援事業 ・女性の再就職チャレンジ支援事業	3,051,297 14,800 21,618	福祉保健部 生活環境部 商工労働部 教育委員会
42	・今までは、新卒者を中心に採用をしてきたが、最近は、子育て中の女性を別枠で採用している。彼女らは、国家資格を取得するなど大変熱意があり、重宝している。このような採用枠も必要と考える。	P19(154) P19(155)	・子育てママの仕事復帰応援事業 ・女性による地域力向上支援事業	⑨ 21,905 2,949	
43	・女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスの推進について、地域間格差がないよう、大分や別府以外の地域でも取組を進めてもらいたい。				
44	・男女共同参画に関する取組について、生活環境部と商工労働部のそれぞれの視点は違うが、非常に関わりが深いので、よく連携して事業を進めてもらいたい。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部 商工労働部

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
④ツーリズムの展開					
45	・おんせん県おおいたは、医療、遊び、潤い、癒しなどを与えるなど特徴付けが大事ではないか。	P12(88)	・おおいたジオパーク推進事業	①元 18,004	生活環境部 企画振興部 土木建築部
46	・ツーリズムの推進で、おんせん県のPRをジオパーク等も絡めて更に推進すべきではないか。	P19(156)	・ツーリズム戦略総合対策事業	119,002	
		P19(158)	・おんせん県デスティネーションキャンペーン推進事業	①特 72,081	
		P19(159)	・国内圏域別誘客促進事業	72,392	
		P26(227)	・国東半島地域観光サイン調査事業	①地 3,241	
47	・美術館ができるということで、ツーリズムにアートツーリズムを追加したらどうか。	P23(194)	・国東半島芸術祭開催事業	①新 120,000	企画振興部
48	・海外からの受入れだが、今年になって流れが変わってきており、中国や韓国だけでなく、ASEAN諸国から訪れる人が増えてきている。どんな国の人が来ようとも対応できる、こちらの受入れ体制をつくることが重要ではないか。	P20(163)	・海外誘客促進事業	40,138	企画振興部
49	・和食の料理人や旅館で働きたい人が少なく、常に人手不足の状態である。おんせん県でPRするにあたり、そういった人たちが就職先として地域に入っていく仕組みを作るべきではないか。	—	—	—	商工労働部 企画振興部
50	・人はいるが、組織として継続できる体力がないので、地域が育たない。地域の実状をみて、持続的な活動ができる仕組みづくりを進めるべきではないか。	P25(217)	・新たな政策展開検討事業	①特 16,196	企画振興部
51	・地域女性活動の活性化について、新たな仕組み等を検討すべきではないか。地域への目配りが必要である。	P19(155)	・女性による地域力向上支援事業 (その他、継続事業等あり)	2,949	教育委員会 生活環境部

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
⑤海外戦略の推進					
52	・APU大学卒の中国人が1名おり、彼には、大分勤務をしてもらい、後輩を会社に入れるようお願いしている。高校生の採用は、全て大分県内であり、大変良い人材なのでありがたい。できるだけ、グローバルに活躍できる人材に育てたい。	P20(164)	・海外戦略推進事業	27,248	企画振興部
53	・子どものグローバル人材の育成も大切だが、大人のグローバル人材の育成も重要である。				
54	・大分県の留学生が多く、受入れはうまくできていると思うが、現地で見ているということが大切。アジアの国々などへ出向き、青少年らと交流する必要がある。NPOとも連携し、積極的に取組を行うべきではないか。	P20(167)	・小学生国際交流活動推進事業	2,041	教育委員会
55	・若者の内向化が気になる。ネットなどの普及によるものか、子どもが人とふれあうことが少なくなってきている。修学旅行等で海外に行くことが増えているが、それで終わりになっており海外に対する熱い思いを維持させる事も大切ではないか。	P20(168)	・はつらつ大分人材育成推進事業	15,140	
56	・テキサスインスツルメンツ跡地について、例えば、APU学生の本国との交流や、ものづくりの海外工業会との交流拠点とするなど活用できないか。	—	—	—	商工労働部

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
2-(3) 人を育て、社会資本を整え、発展する大分県					
①教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成					
57	・ネットの使い方について、子どもに指導が行き届いていないので、ITの子ども向け講話など回数を増やす対策が必要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部
58	・幼児教育は、学力・体力向上の面でも非常に大事であるので、幼児教育に力を入れるべきではないか。	—	(継続事業等あり)	—	教育委員会
59	・サッカーや野球など、部活動に入っている生徒も少なくなってきたが、放課後学校のグラウンドを地域に開放したらどうか。 ・青少年の集団生活の訓練が重要なので、林間学校など行ったらどうか。	—	(継続事業等あり)	—	教育委員会 生活環境部
60	・人口減少社会に向けて、地域の担い手として地域づくりにおいて、若者の活力や創造力を活かすことが重要ではないか。若者の地域活性化センターなどを活用したらどうか。 ・段階の世代の孤立化している状況などもあるので、若いうちから地域とのつながりが重要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	企画振興部 警察本部
61	・中学生の多感な時期に、学力をツールとしてだけでなく、人生の目標や道徳など、自分の人生でどう使っていくか、考える土台を作ることが大切ではないか。	P21(171)	・放課後・土曜学習支援事業	⑤ 86,841	教育委員会
62	・県内の学校は組織で動くのが不得手であると思うので、学力向上などを推進するにあたり、「芯の通った学校組織」づくりを大いに進めてほしい。	P21(177)	・「芯の通った学校組織」定着推進事業	⑤ 2,516	教育委員会
63	・市町村立の図書館はどうなっているかを把握してほしい。指定管理などの例もあるが、十分活用されていない所もあるのではないかと危惧している。	—	(継続事業等あり)	—	教育委員会
64	・ソーシャルメディア、特にLINE(ライン)がいじめの原因にもなっている。夜更かしもする。大人や教師が把握できていないことも問題であり、行政・PTA・警察などが子供たちとの関わり方について体系づけを行うべきではないか。	P22(182)	・いじめ・不登校等未然防止対策事業 (その他、継続事業等あり)	134,363	教育委員会 警察本部

意見要旨		予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
			事業名	予算額 (単位:千円)	
65	・高速道路の開通は人に住んでもらう上で好材料となる。観光面以外に、若者が進学先を選択する際の重要な要素とも聞いており、そうした面のPRも大事である。	—	—	—	企画振興部
66	・ふるさとの魅力継承や郷土愛を育む事業など、優れた成果物を十分活用できていないと感じる。学校現場で活用するなど、学校や地域に広がるような形で取組を進めることが大事である。	P21(173)	・ふるさとの魅力発見・継承推進事業	④ 3,649	教育委員会
②芸術・文化の興隆とスポーツの振興					
67	・大分に県立の美術館が出来るということが、県外の人に知られていないので、積極的なPRが必要ではないか。	P23(192) P23(193) P23(194) P23(195) P19(159)	・県立美術館建設事業 ・地域創造力活性化事業 ・国東半島芸術祭開催事業 ・芸術文化連携推進事業 ・国内圏域別誘客促進事業	4,874,251 ⑤ 8,273 ⑥ 120,000 ④ 22,422 72,392	企画振興部
68	・海外から来る演奏家は100人単位で来県するが、その演奏家に対して、大分をPRすべきではないか。				
69	・オアシスは、ホール、練習室、宿泊施設が全て揃っており、全国的にみても素晴らしい施設である。宿泊を絡めたプラン等で積極的に活用すると共に、福岡から来る、日帰り者に対してのバスやJRの交通対策をしたらどうか。				
70	・芸術文化ゾーンを、もっと世界に目を向けて発信すべきではないか。				
71	・国東には、たくさんのアーティストが集まってきており、芸術祭などもありがたい。世界農業遺産やジオパークも認定を受けてさらに、作家達が期待しているので今後も更なる取組が必要である。				

意見要旨	予算案頁 (項目番号)	平成26年度当初予算案への反映状況		部局名
		事業名	予算額 (単位:千円)	
③多様な県民活動の推進				
72 ・NPO法人の指標「NPOへの事業委託件数」が低くなっているが、NPOの法人数は多い。法人をつくるだけでなく、うまく活かすこと。施策で使うことが必要ではないか。	—	(継続事業等あり)	—	生活環境部
④交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進				
73 ・国では民営化の動きが進んでいるので、今後大分空港もどうするか検討が必要ではないか。	—	—	—	企画振興部
⑤行政サービスの向上				
74 ・「新たな政策展開研究事業」が盛り込まれており、専門スタッフの育成は有意義である。さらに、自治体職員の人材育成などに発展できないか。	—	(継続事業等あり)	—	総務部
⑥地域課題解決に向けた取組の推進				
75 ・地域課題対応枠の国東のオリーブ振興対策事業など、地域の個性を生かす取組に対して積極的な支援をお願いしたい。	P26 (220～227)	・国東オリーブ振興対策事業等 計 8事業	⊙ 21,240	農林水産部 企画振興部 土木建築部
76 ・国東半島では観光サインが古かったり、未整備の箇所もあり、観光客がよく道に迷うので、国東半島芸術祭などに向けて取組を進めてもらいたい。	P26(227)	・国東半島地域観光サイン調査事業	⊙ 3,241	土木建築部